

平成30年度最高裁判所総合評価審査委員会（第3回） 議事概要

開催日及び場所	平成31年2月13日（水）最高裁判所調査官会議室
委員	<p>委員長 中城康彦（明海大学不動産学部教授）</p> <p>委員 遠藤和義（工学院大学建築学部教授）</p> <p>伊室亜希子（明治学院大学法学部教授）</p> <p>馬見田政公（経理局営繕課首席技官）</p> <p>藤田耕一郎（同 次席技官）</p>
委員からの意見・質問及びそれに対する回答等	別添のとおり

(別添)

1 技術提案評価型S型（WTO）東京高地簡裁庁舎電気設備改修工事の評価項目の設定について

- (1) 評価項目の設定について説明
- (2) 委員からの主な意見は以下のとおり

**【委員】**

本件のような設備改修工事において、技術提評価型S型を採用した理由は何か。工事金額が多寡であることのみが理由であれば、参加者側も技術提案を出しにくいのではないかと。

**【事務局】**

本件工事は改修規模が大掛かりなため綿密な計画が必要であり、技術的に工夫の余地が大きいと考えている。

**【委員】**

発注者が考えている工事手順等の与条件は参加者に提示されるのか。発注者の与条件の範囲は参加者に明確に伝え、条件変更が可能な範囲について誤解を生じないようにする必要がある。

**【事務局】**

与条件については、設計図書に明示し参加者に誤解を与えないように工夫する。

**【委員】**

了解した。

2 技術提案評価型S型（WTO）東京高地簡裁庁舎機械設備改修工事の評価項目の設定について

- (1) 評価項目の設定について説明
- (2) 委員からの主な意見は以下のとおり

**【委員】**

別途発注の工事と工事場所や工期が重複するが、作業場所が重なるなど懸念される事項はないか。各々の工事の参加者からの提案が他方の工事に影響しないか、発注者として確認する必要がある。

**【事務局】**

作業場所の重複はないが、資材等の搬入動線は重なる部分があるため、調整が必要となる場合がある。評価時には十分留意して確認することとしたい。

**【委員】**

本件工事の対象となる庁舎に吹付けアスベストがあるとのことであるが、その対策についてはどのような方針であるか。

**【事務局】**

天井裏等に吹付けアスベストが存在しており、抜本的な対策の計画を検討してい

る。現在は、継続的に監視し、アスベストが飛散していないことを確認している。

**【委員】**

参加者に「工事の振動に伴うアスベストの劣化や飛散の防止」が必要であることを理解させるため、本庁舎のどの範囲にアスベストがどの程度あるということを具体的に条件明示する必要があるのではないかと。

**【事務局】**

庁舎のアスベストのある範囲について、どのように参加者に条件明示するかは、再検討する。

**【委員】**

工事中に、アスベストの飛散が確認された場合のコストの負担や責任の所在は、発注者、受注者のどちらに生じるのか。適切に対策を取ったが、アスベストの飛散が確認された場合はどちらの責任か。

**【事務局】**

アスベストの飛散防止の条件を明示している範囲、施工方法について、受注者が注意を怠ってアスベストが飛散した場合は受注者の責任となるが、適切に施工条件を守った上でアスベストの飛散が生じた場合は、受注者の責任は生じないものと考えられる。

本件工事の振動で、工事エリアに近接するアスベストが飛散する可能性があるため、当該部分の空気環境測定を行いながら工事を行う、という条件設定をしているが、本件工事で想定している箇所以外のアスベストの飛散が確認された場合は、本件工事と別途に対策を行うことになる。アスベストに関する施工上の問題については、アスベストに関する有識者の方に意見を聴取することとしたい。

**【委員】**

了解した。

3 松江地家裁浜田支部庁舎新営実施設計業務の総合評価落札方式（標準型）の評価テーマ設定について

- (1) 評価テーマの設定について説明
- (2) 委員からの主な意見は以下のとおり

**【委員】**

「庁舎の長寿命化に関する考え方についての提案」は、①初期費用であるイニシャルコストがかかるが、今後のメンテナンス費用は低減できイニシャルコストとランニングコストを含めた全体の経済性が優れている提案と、②イニシャルコストのみの経済性が優れている提案とが考えられるが、今回の評価項目はどちらが評価の対象となるのか。

**【事務局】**

庁舎を80年程度利用することを前提にすると、時代の変化に伴い設置する機器の性能や大きさなどが変化することが想定され、それに対応する提案なども含め、①の経済性を考慮している提案を評価する考えである。

**【委員】**

ライフサイクルコストや耐候性などを提案に求めるには、与条件を示して、条件に合致した提案を求める方法も考えられ、その場合は庇の表示などある程度詳細な図面を示して提案を求める方が望ましいと考える。参加者に対して示す予定の図面は、どの程度の完成度がある図面を示す予定なのか。

**【事務局】**

資料の図面程度のもので示すことを予定しているが、庇などの表示を明確にするなどの修正を検討することとしたい。

**【委員】**

耐候性にかかる提案とは、どのような提案を想定しているのか。

**【事務局】**

雨水による躯体への影響を少なくする提案などを想定している。

**【委員】**

基本設計において既に条件を付されており、今回の実施設計での工夫の余地が限定されるように思うがいかがか。

**【事務局】**

裁判所庁舎に求められる機能について、将来性の点も踏まえて検討している基本設計の条件を前提とした提案を求めることとしたい。

**【委員】**

了解した。

#### 4 その他

- (1) 今後の委員会スケジュールについて説明
- (2) 委員からの意見等はなし